

早川平会計事務所通信

6月号 VOL. 091

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 F A X：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



近藤麻理恵さんの『人生がときめく片づけの魔法』という本が全米で大ヒットしました。「今までありがとう」と感謝しながら物を捨てる発想が日本的でアメリカ人には新鮮に映るそうです。「もったいない」や「おもてなし」や物に対する感謝など先人が大切にしてきた日本人らしさを逆輸入で再認識するとは意外ですね。

【「バター」や「渋滞」に税金が】

世界の国や地域にはそれぞれ独自の文化や習慣があり、その違いに驚くことがあります。そして税金においても、「えっ！こんなものに税金が」と驚かされるものがあります。例えばデンマークには「バター税」というものがあります。バターなどの動物性脂肪に多く含まれる飽和脂肪酸を一定以上含む食品に対して課税することで、肥満の原因となる食品の消費を減らして国民の健康を守ることが狙いでした。しかし、特に低所得者層に対する負担が大きいことや、安価な国外商品を購入する動きを助長することなどの理由により約一年間で廃止となりました。またハンガリーでは、2011年に通称「ポテトチップス税」が導入されました。こちらも国民の健康を守ることを目的としているため、スナック菓子や清涼飲料水など大量摂取すると健康に害をおよぼす食品や飲料品に対して課税されます。その他にはイギリス・ロンドンの渋滞緩和を目的とした「渋滞税」というものもあります。日本においても明治時代に「うさぎ税」という税金がありました。東京でうさぎの飼育が大流行し珍種が高騰したため、普通のうさぎに色を塗って売りさばく詐欺師が登場しました。そこでこうした異常なうさぎ熱を終息させるために、うさぎ税が導入されました。その効果は絶大で、翌年にはうさぎ熱は沈静化したといわれています。



【おにぎりが進化した『おにぎらず』のレシピ本が続々】

握らないおにぎりの『おにぎらず』がブームです。広げた海苔の上にご飯を敷き、具材を重ねたら海苔ごと四角く折り畳んでできあがり。ボリュームのある食材も簡単に包めるため子どもから大人まで食べやすく、お弁当にも最適です。半分に切ると断面がサンドイッチのように華やかで、料理の幅を広げるレシピ本が続々と出版されています。日本のソウルフードのおにぎりが進化したおにぎらずの人氣が、加速するコメ離れの歯止めとなるか今後に期待したいところです。



A型	B型	O型	AB型
変化を求めて心が揺れ動く月ですが、今は現状維持に努めるのが賢明です。足元を固める時期と心得ましょう。	これまで好調だった人ほど足踏みしやすい運勢。過去に築いてきた信用や人間関係を維持して充実させると吉！	大事な用件は月の後半に片付けると吉。また地味な仕事ほど実力向上につながるため進んで取り組みましょう！	社交運が活発なので人と関わるのが吉。また大勢が集まるところに顔を出して人脈を広げるにも良い月です。

【社長に言いたい社員のホンネ】

朝礼で経営理念の「思いやり」を説く社長に向かって、「社内で一番思いやがないのは社長だよ」と心の中で毒づく社員。その本音は「難しいことはいいから、まずは社員から尊敬される社長でいてほしい」。

口先だけのねぎらいなど社員はすぐに見破ります。立派な態度で正論をぶっても行動が伴ってなければ、社長という立場ゆえに余計見下されてしまうでしょう。いくら雇用関係とはいえ、尊敬できない人のために頑張ろうとはなかなか思えないものです。

儒学の教えである「五常の徳」（仁義礼智信）のなかで孔子が唱えたのは「仁」と「礼」、すなわち「真心」と「礼儀礼節」でした。

「人を使う立場にいながら寛大な心がなく、礼儀作法に従いながら尊敬の心がなく、葬儀に参列していながら哀悼の心がなく、そんな、心の伴わない上辺だけの人間には何の美点もない」と説いた孔子にとって「心」と「言葉」と「行動」は三位一体の切り離せないものであり、とりわけ「心」が肝心だったようです。

心は外からのぞけません。だからこそ人生の最重要課題は「心を鍛えること」だとされています。「心」と「言葉」と「行動」の三者をいかに過不足なく一体化させるか。孔子が終生その問題を追及したのは、人を導くリーダーにとって何よりも大切なものは品位であるという考えからでしょう。社会の中で自らの分をわきまえ、誠実になすべきことをなし、自分ではどうにもならないこと、例えば立場や状況や能力の限界といった宿命的なものは潔く受け入れる。孔子のいう「品位」とは、こうした「生き方」のことではないでしょうか。



メジャーリーグのオファーを蹴って古巣のユニホームを選んだあの黒田投手が多くのファンに愛されるのは「20億円より4億円」というお金の話ではなく、彼の心と言葉と行動が三位一体だからでしょう。

いつの時代も「真心と礼儀礼節を持って事にあたり尊敬されるリーダー」を待ち望んでいるのではないのでしょうか。

痛快！ えだまめ君

画：ほりひろみ



【神さまとのおしゃべり】

自己啓発ブロッガーによる待望の初著書。「幸せになりたいんじゃろ？ だったら、叶えてやるよ」という神さまとの会話を讀んでいるうちに、こちらまで心が軽くなっていきます。自分を変えたいと思ってキッカケを模索している方にお勧めです。

